

「困ったときは、お互いさま」

熊本地震被災地への義援金、10万円が集まりました

社会福祉法人愛泉会では、令和8年8月13日から8月31日まで、熊本地震の被災地を支援するため、**「心を寄せる募金」**を実施しました。

今回の募金は、職員だけでなく、愛泉会をご利用いただいている皆さまにもご協力をお願いしたものです。

その結果、皆さまから寄せられた義援金は、**100,000円**となりました。
ご協力いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

「熊本の方々に、少しでも元気になってほしい」

今回の募金活動では、多くのご利用者の皆さま、職員の皆さんから温かいお気持ちをお寄せいただきました。写真は、ハニカム青春塾のご利用者の皆さまです。熊本の被災地へ届ける募金に、皆さまが心を寄せてくださいました。

「困ったときは、お互いさま」

私たちが暮らす大分県と熊本県は、阿蘇を越えればすぐ隣です。災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

もし、私たちの住む大分で大きな災害が起きたとき、誰かが「大丈夫ですか」「一緒に頑張りましょう」と手を差し伸べてくれたら、どれほど心強いことでしょう。

今回、皆さまから寄せられた一人ひとりの小さな思いが、**10万円**という大きな支援になりました。

愛泉会は、日々、高齢者の皆さまの生活と命に向き合っています。

人の痛みを想像すること。

困っている人に心を寄せること。

そして、自分にできる小さなことを行動に移すこと。

それは、私たちが大切にしている「福祉の心」そのものでもあると思います。
皆さまからお預かりした義援金は、愛泉会として取りまとめ、本日、日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。

ご協力いただきましたご利用者の皆さま、職員の皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。

熊本の一日も早い復旧・復興と、被災された皆さまが穏やかな日常を取り戻されますことを、心よりお祈り申し上げます。

令和8年9月3日

社会福祉法人愛泉会 理事長 土師 壽三